

第5章 基本的取組の推進

1 計画の推進体制

(1) 庁内体制

本計画の推進及び進行管理の庁内組織として、「武蔵村山市環境推進委員会」を位置付けます。環境施策の進捗状況などについて、各担当課からの報告を受け、総合的・横断的な調整を行います。

(2) 環境審議会

学識経験者、関係行政機関職員、市民・事業者の代表によって「武蔵村山市環境審議会」を構成します。

環境保全等の施策に関する基本的事項、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事項などについて、多面的・専門的に審議し、方針などを検討します。

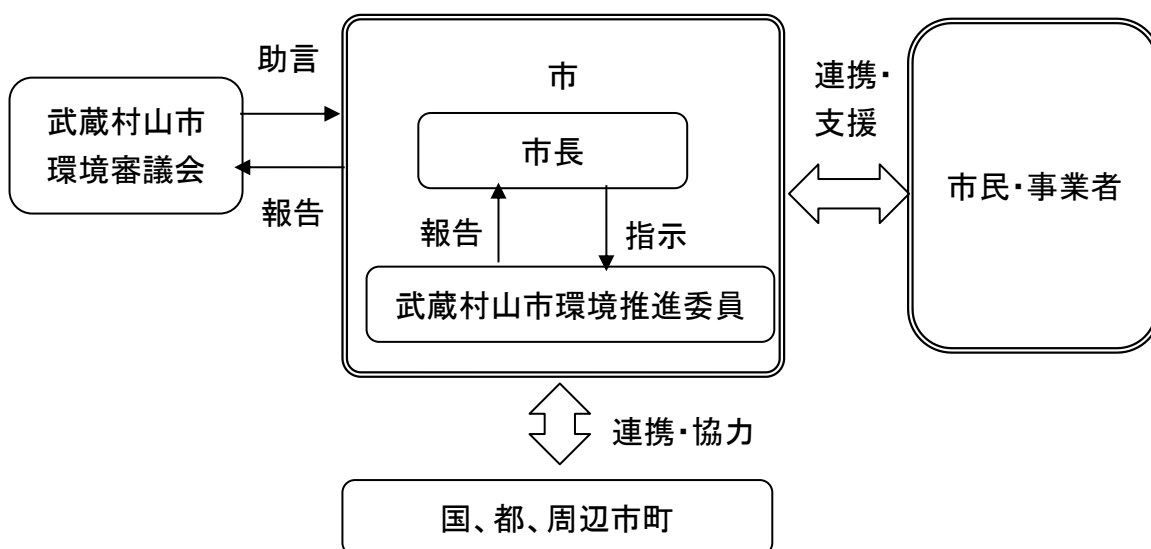
(3) 市・市民・事業者

市・市民・事業者は本計画に基づき、各主体の役割に応じて、主体的に取組を進めます。また、必要に応じて市・市民・事業者は連携を図ります。

(4) 広域的な連携体制

市域を超えた広域的な課題に取り組むため、国、都、関係市町等と連携を図ります。

<計画の推進体制>



2 計画の進行管理

(1) 進行管理の仕組み

① 武蔵村山市年次報告書を通じた見直し(毎年度実施)

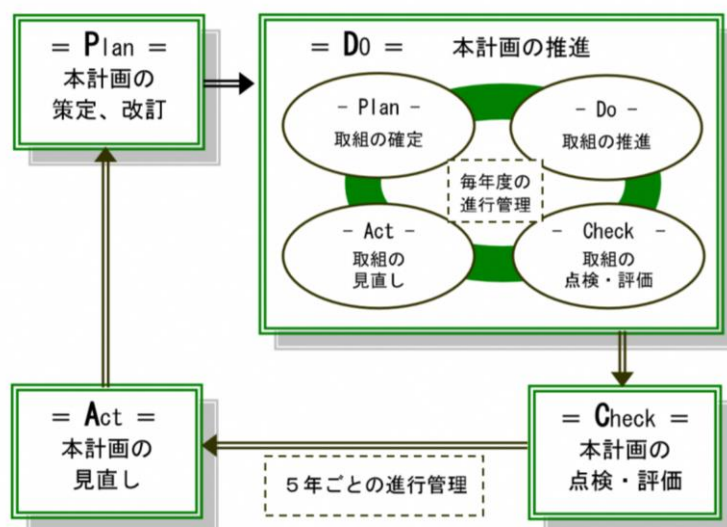
環境指標の進捗状況及び環境施策の取組状況などについて取りまとめた「武蔵村山市年次報告書」を毎年度作成し、市民・事業者に公表することにより、進捗状況の点検・評価と見直しを行います。

また、武蔵村山市環境審議会で審議を行い、助言を受け、取組の見直しを行います。

② 計画全体の見直し

本計画は、令和7年度までを計画期間としますが、社会情勢の変化や技術動向の変化等に応じて、適時、計画体系や進行管理の在り方など、計画全体に関わる見直しを行います。

<進行管理のサイクル>



③ 環境指標

環境指標を次頁以降に記載します。

環境指標について、総合計画や個別計画等で目標値が設定されているものについては、その目標値を目標の目安とします。なお、計画が更新された時点で、目標値についても更新を行うものとします。その他の指標については、毎年、数値が改善されることを目標の目安として、環境目標（定性目標）の検証を行います。

なお、環境指標は社会情勢や技術変化等を考慮し、環境審議会での意見等を踏まえ、適時見直しを行います。




基本施策柱 1 みどり等との共生

●環境目標

まちの誇りであるみどり等を次世代に引き継ぐ

取組方針①みどりの保全・創出・育成

SDGsのゴールとの関連

	11. 住み続けられるまちづくりを
	15. 陸の豊かさも守ろう
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
都市全体の緑化総量（緑被率）（%）	44.5 （平成23年度）	※ ¹ 45.0	※ ² —
保存生け垣の延長（m）	4,709 （平成26年度）	※ ¹ 4,850	4,120
公園・緑地等のボランティア人数（人）	64 （平成26年度）	※ ³ 148	148
グリーンヘルパー（1級）人数（人）	0 （平成26年度）	※ ⁴ 8	10

※¹ 第二次みどりの基本計画より（令和4年度達成目標）




※² みどりの基本計画の改訂時に調査する予定のため

※³ 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）

※⁴ 令和元年度実績において既に目標を達成しているが、更なる増を目指す。

取組方針②水辺の保全・水循環の創出

SDGsのゴールとの関連




	6. 安全な水とトイレを世界中に
	15. 陸の豊かさも守ろう
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
残堀川クリーンアップ作戦参加者数（人）	23 （平成26年度）	毎年、増加を目指します。	※ 0

※ 令和元年度は荒天により中止となった。

取組方針③農地の保全・農業の活性化

SDGsのゴールとの関連





	2. 飢餓をゼロに
	15. 陸の豊かさを守ろう
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
体験型市民農園の設置箇所数（箇所）	2 （平成26年度）	※ 3	2
市内の小中学校での学校給食で利用される 地場産率10%以上の野菜数（種類）	12 （平成26年度）	毎年、増加を目指します。	17
認定農業者（人）	18 （平成26年度）	※ 46	41

※ 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）

取組方針⑤みどり等とのふれあいの場の創出

SDGsのゴールとの関連

	4. 質の高い教育をみんなに
	6. 安全な水とトイレを世界中に
	15. 陸の豊かさを守ろう
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
里山等とのふれあいの場の創出数、参加者数	3回 43人 （平成26年度）	毎年、増加を目指します。	※1 1回 32人
水辺とのふれあいの場の創出数、参加者数	2回 33人 （平成26年度）	毎年、増加を目指します。	※1 0回 0人
親水緑地広場の箇所数（箇所）	7 （平成26年度）	※2 8	7
農地とのふれあいの場の創出数、参加者数	※3 2箇所 107人 （平成26年度）	※4 3箇所 毎年、増加を目指します。	2箇所 99人

※1 環境学習会（春、秋）・自然観察会（狭山丘陵の早春）は、荒天及び新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった。

※2 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）

※3 体験型市民農園

※4 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）



基本施策柱2 エネルギーの有効利用の推進

●環境目標

ライフスタイル・事業活動の見直しを行いエネルギーの有効利用を行う

取組方針①省エネルギーの推進

SDGsのゴールとの関連

	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	13. 気候変動に具体的な対策を

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
公共施設等におけるエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量（総量） （kg-CO ₂ /年）	※1 5,050,709.98 （平成27年度）	※2 4,798,207	3,747,933.26
一世帯あたりの使用量（電気）	— （平成26年度）	把握方法を検討する。	—
一世帯あたりの使用量（都市ガス）	※3 366.3 m ³ （平成26年度）	使用量の削減を図る。	※3 335.6 m ³
一世帯あたりの使用量（水道）	※4 733.1 ℓ （平成26年度）	使用量の削減を図る。	※4 680.4 ℓ

※1 第三次地球温暖化対策実行計画より



※2 令和元年度実績において既に目標を達成しているが、更なる減を目指す。

※3 市統計書より算出。武陽ガス提供資料を基に作成、対象期間は1月から12月。

※4 市統計書より算出。東京都水道局提供資料を基に作成、対象期間は統計書作成の前年度。

取組方針②再生可能エネルギーの推進

SDGsのゴールとの関連

	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	13. 気候変動に具体的な対策を

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
公共施設等における再生可能エネルギー導入量	— (平成 26 年度)	再生可能エネルギーの導入状況を把握する。	※1 4.169kwh
市内の再生可能エネルギー導入量	— (平成 26 年度)	再生可能エネルギーの導入状況を把握する	※2 75.5kwh



※ 湖南地区集会所に設置している太陽光発電システムの売電量。

※ 市内事業者が二酸化炭素排出抑制対策事業者等補助金を利用して設置した太陽光発電システムの発電予測量。

市が推薦書を交付する際に、事業者が提出した資料による数値。

取組方針③低炭素なまちの形成

SDGsのゴールとの関連

	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	13. 気候変動に具体的な対策を

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
公用車における低公害車の導入割合 (%)	33.0 (平成 26 年度)	※1 60.0	47.7
庁用自転車の台数 (台)	※2 2 (平成 26 年度)	26	26
市内循環バスの1便当たりの輸送人数 (人/便・年)	5 (平成 26 年度)	※3 6	5
乗合タクシー「むらタク」の利用者数 (人/年)	3,520 (平成 26 年度)	※3 4,500	3,498

※1 第五次長期総合計画前期基本計画より (令和7年度達成目標)

※2 台数については、基準年度は総務契約課のみの台数、令和元年度は全ての台数。

※3 第五次長期総合計画前期基本計画より (令和7年度達成目標)

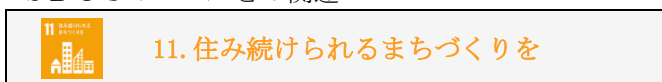
基本施策柱3 4Rの推進

●環境目標

4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を全員参加で進める

取組方針①ごみの排出抑制と排出抑制の促進

SDGsのゴールとの関連

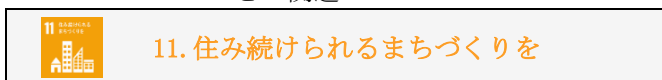


環境指標	基準年度	目標	令和元年度
排出物原単位（総排出量÷年度末人口 ÷年間日数）（g/人・日）	805.2 （平成26年度）	※ 660.0以下	785.0

※ 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）

取組方針②資源化の推進

SDGsのゴールとの関連



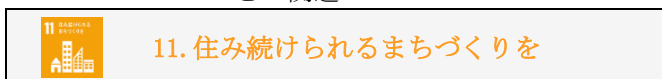
環境指標	基準年度	目標	令和元年度
リサイクル率（※1エコセメント含む） （総資源化量÷総排出量×100）（%）	34.9 （平成26年度）	※2 37.6	32.5

※1 ごみを燃焼させて生じた焼却灰を原料に製造されたセメント

※2 第五次長期総合計画前期基本計画より（令和7年度達成目標）

取組方針③環境への負荷の低減とごみの適正処理

SDGsのゴールとの関連



環境指標	基準年度	目標	令和元年度
最終処分量（※1循環組合への搬入量）（t）	1,958 （平成26年度）	※2 モニター 指標とする。	1,910
最終処分量 （※1循環組合への不燃ごみ埋立て量）（t）	30 （平成26年度）	※2 モニター 指標とする。	※3 0

※1 「循環組合への搬入量」は、焼却灰・不燃ごみの総量、また、「循環組合への不燃ごみ埋立て量」は、搬入量から焼却灰を除いた量。

※2 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画（平成30年度～令和9年度）（令和9年度達成目標）

※3 平成30年度は循環組合への搬入・埋め立てを中止し、民間委託により資源化を図った。






基本施策柱 4 生活環境の保全

●環境目標

環境基準の遵守と維持による快適な生活環境づくり

取組方針①生活環境の保全（環境基準の遵守と維持）

SDGs のゴールとの関連


	3. すべての人に健康と福祉を
	6. 安全な水とトイレを世界中に
	11. 住み続けられるまちづくりを
	13. 気候変動に具体的な対策を
	15. 陸の豊かさを守ろう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
環境基準の達成 (遵守された項目／※モニタリング項目×100) (%)	90 (平成 26 年度)	100	96

※ モニタリング項目は、道路沿道における二酸化窒素濃度、残堀川・空堀川における BOD 濃度、地下水の環境基準、道路交通騒音・振動、横田飛行場・立川飛行場周辺航空機騒音である。

取組方針③快適環境の保全

SDGs のゴールとの関連

	11. 住み続けられるまちづくりを
---	-------------------

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
クリーン作戦参加人数 (人)	3,874 (平成 26 年度)	毎年、増加を目指します。	3,264
※1 不法投棄等のごみ回収量 (kg)	990 (平成 26 年度)	毎年、減少を目指します。	540
犬のふんの放置防止パトロールの実施 (回/年)	— (平成 26 年度)	※2 24 以上	22

※1 武蔵村山市第二次環境基本計画に基づいた実績のため、クリーン作戦によるごみ回収量のみ計上している。

※2 第五次長期総合計画前期基本計画より (令和 7 年度達成目標)




基本施策柱5 環境行動・教育の推進

●環境目標

環境活動への参加と次世代を育成する

取組方針①環境に関する情報の収集・提供





SDGsのゴールとの関連

	4. 質の高い教育をみんなに
	11. 住み続けられるまちづくりを
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
広報による環境に関する情報の提供回（回）	17 （平成26年度）	毎年、維持又は増加を目指します。	20

取組方針②学校・職場での環境教育

SDGsのゴールとの関連

	2. 飢餓をゼロに
	4. 質の高い教育をみんなに
	11. 住み続けられるまちづくりを
	17. パートナーシップで目標を達成しよう

環境指標	基準年度	目標	令和元年度
環境学習会、親と子の環境教室の参加人数（人）	58 （平成26年度）	毎年、増加を目指します。	21

※ 環境学習会（春、秋）は、荒天及び新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった。